

大学の世界展開力強化事業（平成29年度採択）事後評価結果

大 学 名	東京工業大学
整理番号	AR03
事 業 名	健康・医療産業や原子力・エネルギー産業を先導する日露工学系人材育成プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 <b style="font-size: 2em;">A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
コメント 本事業は、健康・医療産業や原子力・エネルギー産業をグローバルに先導できる日本とロシアの工学系人材の育成を目的として実施されたものである。 事業展開では、日本側は東京工業大学が、ロシア側は、モスクワ大学とロシア国立原子力研究大学がパートナーとなり、日本の学生を派遣する短期・長期のプログラムとロシア側の学生を受け入れる短期・長期のプログラムを実施し、日露学生交流フォーラムを開催して学生交流を図るとともに、日露大学間での共同研究の実施や、学生のフィールドワークを通じた日露企業との連携も推進している。学生交流の総数としては、計画を上回る学生が本事業に参加しており、コロナ禍においても、オンラインを活用した交流が継続されている点が優れている。 また、世界展開力ロシア事務局を設置し、ロシア人学生の受け入れ、日本人学生の派遣をワンストップで実施していることは評価できる。 更に、日露大学間で学生指導を通じた共同研究の実施により、国際会議での共同発表や、国際的学術雑誌への共著論文の投稿掲載にも至っている。また、国際共同研究プログラムにも応募し、原子力分野で初めて日露共同の研究テーマが採択される等の具体的な成果が得られていることも評価できる。 一方で、本事業に参加する日本人学生数は計画値を上回っているものの、短期間の派遣が多く、単位取得を伴う長期的な国際交流に参加する学生数を増やすことが望まれる。 更に、日露大学共同で研究室レベルでの学生指導は行われているが、単位互換を含めたダブル・ディグリー・プログラムの構築等、今後は、より高いレベルでの質保証を目指した事業展開も望まれる。 最後に、国際情勢等を踏まえつつ、これまでの事業の成果をいかし、我が国の大学教育を牽引され、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。	